

令和8年度 第1回市民参加推進会議 議事録

1. 開催日 令和8年6月2日(火) 午後1時30分～午後3時10分

2. 開催場所 浦安市役所10階 協働会議室

3. 出席者 (委員) 関谷会長、野田副会長、牧野委員、相原委員、
奥山委員、小島委員、川田委員、森島委員
(事務局) 齋藤部長、小泉次長、大塚課長、峯崎係長、森主事

4. 議事次第

- (1) 令和8年度の会議開催スケジュールについて
- (2) 第4期市民参加推進計画について
- (3) 市民参加に関する事業の実施状況調査について
- (4) 浦安市市民活動補助金・まちづくり活動補助金の見直しについて

5. 配布資料

(会議資料)

資料1-1-1 令和8年度年間スケジュール

資料1-2-1 第4期市民参加推進計画(令和8年3月策定)の概要について

資料1-3-1 市民参加に関する事業の実施状況調査について

資料1-4-1 浦安市市民活動補助金・まちづくり活動補助金の見直しについて

参考 第4期市民参加推進計画

6. 議事概要

<議題>

(1) 令和8年度の会議開催スケジュールについて

■説明(事務局)

事務局より資料1-1について説明を行った。

■主な意見

委員：第2回市民参加推進会議の議題3で令和10年度からの制度変更とあるが、これは議題4の浦安市市民活動補助金・まちづくり活動補助金の見直しのことを言っているのか。

事務局：そのとおりである。第2回市民参加推進会議で制度の概要について、第3回市民参加推進会議で制度の詳細についてご説明させていただく。

(2) 第4期市民参加推進計画（令和8年3月策定）の概要について

■説明（事務局）

事務局より資料1-2について説明を行った。

■主な意見

委員：広報うらやすの2ページに計画の概要が記載されており、3ページに具体的な市民活動団体の活動が紹介されていて、分かりやすく非常に良い取り組みである。多くの方が目にする機会が増えるとより良い。

(3) 市民参加に関する事業の実施状況調査について

■説明（事務局）

事務局より資料1-3について説明を行った。

■主な意見

委員：令和7年度の報告書を作成する際に、過去何年分かのデータと比較していただきたい。

事務局：事業総数の推移等を掲載したものを報告させていただく。

委員：議題2で第4期市民参加推進計画の目的と背景について説明しているが、自主防災組織において横の連携ができていないと感じる。自治会だけでなく、多様な主体が参加して、意見を交わしたり、ルールを作ったりと横の連携をとるよう指導していただきたい。

事務局：自主防災組織は自治会の役員だけが委員として見られているが、自治会会員である世帯全員が会員である。また、各自主防災組織の活動の際には、単位老人クラブ、子ども会、おやじの会といった様々な組織と連携を図るよう声掛けしている。

委員：それぞれの組織が連携しているが、リーダーシップをとる人がいないとうまくいかない。

事務局：市民参加推進会議の役割は浦安の市民参加を進めるための調査、審議をしていただくことである。事業1つ1つを深掘りして議論することも重要ではあるが、市民参加を一層進めていくために、いくつかの事業を取り上げて、委員の皆様にご意見をいただくということを次回以降進めていきたい。事前に資料をお渡しするので、希望する事業を提示いただければ、できる限り事務局でピックアップさせていただき、紹介したいと考えている。

(4) 浦安市市民活動補助金・まちづくり活動補助金の見直しについて

■説明（事務局）

事務局より資料1－4について説明を行った。

■主な意見

委員：今回提示した補助金について、内容次第ではベイシニア浦安の運営に関わる可能性があるため、制度概要の資料を早めにいただけるとありがたい。

事務局：できる限り事前に資料を配布し、皆様からのご意見を踏まえて、検討していく。

委員：現在、同じ団体が異なる事業で補助金制度を受けることは可能なのか。

事務局：可能である。現在の制度の要件だと国や県、市から他に補助金を受けていない事業であることが対象として要綱で定められている。

事務局：事業補助と運営費補助の方法があり、運営費補助を交付している団体はこの補助金の対象外となる。

委員：単位老人クラブはベイシニア浦安から一切お金をもらっていない。その場合、単位老人クラブはベイシニア浦安の事業とは別事業で申請すれば補助対象になるのか。

事務局：内容によるが、可能である。

委員：今回、連携促進部門を立ち上げるにあたり、団体のニーズや連携状況についてそれぞれの立場からお話しいただきたい。

委員：市民活動団体については、普段から連携している団体が一緒に活動したり、その活動を通じて知り合った方が他の活動に参加したりといった状況は見受けられる。複数の団体がお試しとして一緒にイベントをする際に、この補助金があると実施しやすいのではないかと。5月に8団体ほどが一緒にイベントを行うといった企画を実施し、そこで交流が生まれ、お互いに協力し合うといった動きが出てきている。宣伝になるが、市民活動センターでは様々なスキルを持った団体を地域で活用するというつなぐプロジェクトを実施している。プロジェクト自体はボランティアだが、補助金を活用すれば事業も拡大して行うことができるのではないかと考えている。

委員：このプロジェクトを通じてマッチングした連携が今後、連携促進部門に応募するという想定はしているのか。

事務局：細かい運用についてはこれから精査していく。

委員：団体の所属や活動主体の属性で判断すると連携促進部門での申請は増えていかないと予想される。そうではなく、事業をどう評価し、支援してくのかという建付けで今後検討していただきたい。

事務局：承知した。

委員：社会福祉団体については、お金というより、障がいを持つ親子の集う場が欲しいといった相談がある。社会福祉協議会では市内に現在4箇所ある「ぼっかぽか」を活用して障がいを持つ方の集いの場の提供など、後方支援を行っているところである。

委員：まちづくりのために活動している単位老人クラブがしっかり評価されるような選定委員会にしていきたい。

事務局：浦安市市民活動補助金及びまちづくり活動補助金選定委員会は学識有識者の方、まちづくり活動団体の方、市民公募した市民の方及び市職員から委員を選び、それぞれの視点、知見を生かして補助金事業の選定を行っている。今年度の補助金の選定結果については次回報告させていただく。

全ての議題及び会議の議事録については会長一任とすることを承認いただき会議を終了した。